

平成 16 年度 第 2 回 幹事会議事録

(社) 日本地すべり学会

日 時：平成 16 年 8 月 31 日 (水) 11 時 30 分～14 時

場 所：三井アーバンホテル秋田 玉葉東の間

出席者：		区分	氏名	出欠	区分	氏名	出欠	
三役等	会長		山 岸 宏 光	○	各支部長	北海道	前 田 寛 之	
	副会長		吉 松 弘 行	○		東北	宮 城 豊 彦	
	副会長		丸 井 英 明			新潟	丸 井 英 明	
	専務理事		落 合 博 貴			中部	北 澤 秋 司	○
	前会長		佐 々 恭 二			関西	山 本 哲 朗	
	表彰委員長		藤 田 壽 雄	○		九州	玉 田 文 吾	
	教育問題委員長		岩 尾 雄 四 郎	○		北海道	米 田 哲 朗	
各部部长	総務		広 嶼 孝 也	○	支部長代行	東北	千 葉 則 行	○
	編集出版		松 浦 純 生	○		新潟	古 川 昭 夫	
	事業計画		檜 垣 大 助	○		中部	小 野 和 行	
	国際		宮 城 豊 彦	○		関西	末 峰 章	
	研究調査		山 崎 孝 成	○		九州	宜 保 清 一	○
部長代行	総務		伴 要	○	財政委員長	小 林 佳 嗣	○	
	編集出版		阿 部 真 郎		広報委員長	太 田 英 将		
	事業計画		伊 藤 俊 方					
	国際		大 河 原 彰					
	研究調査		榎 田 充 哉					
						出席者数	14	
						欠席者数		

* 会議当日、台風のため参集に支障が生じた。

【会議資料】

- 資料-1 ……前回議事録
- 資料-2 ……平成 16 年度幹事会名簿
- 資料-3 ……日本地すべり学会と大学教育・JABEE
- 資料-4 ……会勢立直し施策案 (総務部)
- 資料-5 ……事業計画部資料
- 資料-6 ……学会賞審査報告書
- 資料-7 ……中部支部報告書
- 資料-8 ……北海道支部総会・運営委員会議事録
- 資料-9 ……若手ワークショップへの助成規定, NELS2005 シンポジウムの準備について
- 資料-10 ……研究調査部資料

I 開会

- a. 前回議事録 (資料-1) 確認
 - ◆ 訂正：国際部 …… ICL 派遣者は会長または国際部長のうち 1 名
 - ◆ 訂正：表彰委員会 …… 論文賞は応募がなかった

II 審議

1. 教育問題委員会の活動について (資料-3)
 - a. 説明
 - ◆ 学会の存在感を JABEE の中で大きくすることが大切。
 - ◆ JABEE 審査員, 審査オブザーバを学会から出す必要がある。
 - ◆ 倫理要綱検討会を立ち上げるが, 総務部からもメンバーを出してほしい。

- b. 審議
 - ◆ [意見]。特になし
 - c. 決定
 - ◆ 当委員会の委員の選出は岩尾委員長の提案に基づいて検討する。
 - ◆ その他について了承。
2. 会勢立直しの施策について（資料-4）
- a. 説明
 - ◆ 資料の説明。
 - b. 審議
 - ◆ [意見] 特になし。
 - c. 決定
 - ◆ 了承。
3. 次年度の主な行事の取組みについて
- a. 説明
 - ◆ 事業計画部の H17, 第 44 回研究発表会（長崎大会）について（資料-5）。
 - ◆ 今後の研究発表大会の実施方向（案）について（資料-5）。
現行では開催県が主体となって過去例に倣って実行している。分担と責任が不明確な部分もあり、また、時代の要請でもあるので、今後は（長崎大会から）支部主体の運営に移行する方向とする計画である。9月1日の事業部会で検討して決定する。
 - b. 審議
 - ◆ [質問] 開催地の選定方法はどのような仕組みか？
 - ◆ [回答] 従来は三省に依頼して持ち回りで開催県を推薦していただいている。この点については、今後も基本的に変わらない。
 - ◆ [要望] 関係支部の業務負担について、運営が円滑にできるようにマニュアルをきちんと作っておく必要がある。また、できることはできるだけ本部で実施してほしい。
 - ◆ [回答] 来年度にはマニュアルが出来上がる予定。
 - ◆ [質問] 行政サイドはどのようにかかわることになるか？ 後援か？ 共催か？
 - ◆ [回答] 長崎県は「後援」を申し出てくれた。実行委員会の構成はあまり変化ない見込みであるが、県主体の運営はなくなる。
 - c. 決定
 - ◆ 了承。
4. その他
- 特に問題なし。

III 報告

1. 学会賞の審査報告（表彰委員会：資料-6）

- a. 説明
 - ◆ 資料の説明
 - ◆ 「運営功労賞」を編集出版部に贈る。感謝状の形をとる方針である。
- b. 審議
 - ◆ [要望・意見等] 特になし。

c. 決定

- ◆ 了承。

2. 各部・支部からの報告

2.1 事業計画部（資料-5）

a. 説明（今後の研究発表会の運営に関しては3.を参照）

- ◆ 第43回研究発表会について資料の説明。
- ◆ 若手研究者/技術者ワークショップ助成公募について（資料-9）。
- ◆ 第44回研究発表会（長崎・佐世保）の計画について。
大会規模は無理に大きくしない方向でいきたい。
ポスターセッションを50件に増やし、口頭発表時間を十分に確保したい。
特別セッションは現在明確な実施基準がない。公募した場合、発表件数の集中により大会運営に支障が出る恐れがある。研究調査部主管で動いているテーマの中から選ぶ方向が適切かと思う。
- ◆ 平成17年度シンポジウム&総会に関して、中部支部から地附山20周年に絡めての開催の提案がある。
- ◆ 平成17年ネパールシンポジウムについて。

b. 審議

- ◆ [意見等] 特になし。

c. 決定

- ◆ 了承。

2.2 総務部（資料-4）

a. 説明

- ◆ 文部科学省による監査は問題なく終了した。
- ◆ 学会事務センターの倒産の影響について事務局から説明。
当学会では事務センターに購読会員向けの学会誌を買い取ってもらっており、75万円の債権が残っている。回収の見込みは薄いですが、事業譲渡の可能性は残っており、譲渡が行われた場合にいくらかの返還が得られるかもしれない。
裁判所からの債権確定通知はこれから送付される。
会誌の発送業務を別会社に委託することを含めて対策を検討中。

b. 審議

- ◆ [意見等] 特になし。

c. 決定

- ◆ 了承。

2.3 研究調査部（資料-10）

a. 説明

- ◆ 資料-10の説明。
- ◆ 助成研究は新規2テーマを採択。新規テーマのうち「⑤土地利用の変化による地すべり…」はアメリカ合衆国国立公園局との共同研究である。

b. 審議

- ◆ [意見等] 特になし。

c. 決定

- ◆ 了承。

2.4 編集出版部（資料なし）

a. 説明

- ◆ 特に報告事項なし。
- ◆ 新潟，福井災害のニュース→9月号，徳島災害→11月号に掲載予定。

b. 審議

- ◆ [意見等] 特になし。

c. 決定

- ◆ 了承。

2.5 国際部（資料なし）

a. 説明

- ◆ ICLの立ち上げが完了したので，今後は国内，近隣諸国との連携にシフトしていく。
- ◆ 会誌の国際ニュース欄に海外プロジェクトの紹介などを掲載したいが，増ページに柔軟に対応できないか？

b. 審議

- ◆ [意見等] 特になし。

c. 決定

- ◆ 了承。

2.6 中部支部（資料-7）

a. 説明

- ◆ 中部支部 H16 シンポジウム「長野県西部地震と御岳崩れ 20 周年」について。

b. 審議

- ◆ [意見等] 特になし。

c. 決定

- ◆ 了承。

2.7 北海道支部（資料-8）

a. 説明

- ◆ 北海道支部 H16 総会，第 1 回運営委員会の結果説明。

b. 審議

- ◆ [意見等] 特になし。

c. 決定

- ◆ 了承。

以上

（記録：伴，文責：落合・広嶋）